受章・受賞おめでとうございます

春の叙勲

旭日双光章
〈納税功労〉

元群馬県間税会連合会副会長
金井則夫さん
（上原町）

沼田間税会の会長や副会長を務め、税務知識の普及や広報活動に尽力されました。「26年にわたり、役員として会員拡大にも積極的に取り組むことができたのは、役員と会員の支えと協力のおかげ。地域とともに活動できたことに感謝しています」

危険業務従事者叙勲

瑞宝単光章
〈警察功労〉

元埼玉県警部補
桑原肇さん
（町田町）

事故の処理や捜査を中心に、現場での原因究明や関係者対応などに尽力し、約40年にわたり警察の第一線を支えてこられました。「死亡事故対応で帰宅できない日もありましたが、支えてくれた家族に感謝しています。現在は故郷・沼田に戻り、地域との交流を大切にしています」

高齢者叙勲

旭日双光章
〈保健衛生功労〉

元㈳沼田利根医師会理事
内田好司さん
（久屋原町）

勤務医を経て、昭和51年に内田外科病院を開院。内田病院として半世紀以上にわたり地域医療の推進に尽力されるとともに、平成27年からは県警察医としてもご活躍されました。「自分なりに精一杯取り組んできました。支えてくれる妻や、職員の支えのたまものと感謝しています」

高齢者叙勲

瑞宝双光章
〈教育功労〉

元公立小学校長（群馬県）
亀山高人さん
（柳町）

池田小学校などで校長を務められ、地域を大切にしながら、子どもたちと向き合ってこられました。多くの人に支えられて歩めてきた日々への感謝の思いとともに「教え子の成長を見守れることが何よりの喜び」と話されます。現在も同窓会に招かれるなど、交流を楽しんでいます。

高齢者叙勲

旭日双光章
〈教育功労〉

元公立中学校長（群馬県）
桑原清さん
（栄町）

35年にわたり教職に就かれ、昭和中学校長などを歴任されました。美術やソフトボールの指導に尽力され、多くの生徒を大会入賞に導きました。「力を入れて指導した生徒たちが大会やコンクールで活躍してくれたことが心の支えになりました。我が生涯に悔いなしです」

春の褒章

黄綬褒章
〈業務精励〉

現小菅林業㈲代表取締役
小菅正治さん
（白沢町上古語父）

25歳より森林管理や木材生産に携わられ、林業の発展に尽力されました。林業に関する課題の調査分析や知識技術の普及に積極的に取り組まれ、県組織の役員としてもご活躍されています。「支えてくれる家族や周囲の人に感謝しながら、今後も林業を盛り上げたいです」

紺綬褒章

高橋達雄さん
（横塚町）

沼田市の社会福祉向上のためにと、多額の寄付をいただきました。

高橋氏は、平成18年にＮＰＯ法人あおぞら会の理事長に就任し、沼田市の社会福祉向上のため、心の病を持つ人たちが安心して生活が送れるよう、今日まで活動をされてきました。

市では、寄付金を福祉振興事業基金として積み立て、福祉事業の振興を図るため活用をさせていただきます。

県総合表彰

〈福祉〉
小林活代さん
（白沢町尾合）
現群馬県母子寡婦福祉協議会副理事長

〈保健〉
金子好雄さん
（柳町）
元群馬県美容業生活衛生同業組合副理事長

〈農業〉
宮田敦子さん
（白沢町尾合）
女性による農業振興・地域社会づくり活動

〈保健〉
山田晃さん
（東原新町）
現群馬県薬剤師会理事

令和５年度　1003354

財務書類４表

市の財政状況について、国が推奨する「新地方公会計制度」に基づく4つの財務書類を作成しました。土地や建物の固定資産台帳を整理し、財政管理の適正化を図りました。
※作成範囲は一般会計に特別会計および企業会計を加えた全体会計です

問合せ　財政課財政係☎内線 4038

■貸借対照表（バランスシート）

会計年度末時点において、市の資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を示し、右側に負債および資産と負債の差額である純資産を示します。

資産の部（これまで積み上げてきた資産）			負債の部（将来世代が負担する金額）		
固定資産			固定負債		
・事業用資産（庁舎、学校、保育所など）	384億	2,529万円	・地方債	331億	1,262万円
・インフラ資産（道路、公園、橋りょうなど）	455億	2,605万円	・退職手当引当金	47億	6,205万円
・物品、ソフトウェアなど	14億	2,566万円	・その他の固定負債	75億	858万円
・投資その他の資産	32億	7,184万円	流動負債		
流動資産			・賞与等引当金	2億	9,545万円
・現金預金	30億	923万円	・その他の流動負債	30億	4,745万円
・基金、未収金など	37億	5,899万円	負債合計	487億	2,615万円
			純資産の部（現在までの世代が負担した金額）		
			純資産合計	466億	9,092万円
資産合計	954億	1,706万円	負債および純資産合計	954億	1,706万円

■資金収支計算書

現金の流れを示し、その収支を性質で区分して示すことで、どのような活動に資金を必要としているかを示します。

前年度末資金残高（繰越金）	29億5,601万円
本年度資金収支額	△1,054万円
・業務活動収支（税収、国県等補助金、人件費など）	6億　534万円
・投資活動収支（公共施設等整備費支出、国県等補助金など）	2億　5,796万円
・財務活動収支（地方債等発行、償還など）	△8億　7,385万円
本年度末歳計外現金残高（預り金）	6,377万円
本年度末現金預金残高	**30億　923万円**

■純資産変動計算書

市の純資産(資産から負債を引いた残り）の増減を示し、どのような財源や要因で変動したかを示します。

前年度末純資産残高	474億2,973万円
本年度変動高	△7億　3,881万円
・△純行政コスト	△327億　595万円
・財源（市税、地方交付税、国県等補助金）	312億　4,074万円
・資産形成への充当	4億　5,450万円
・その他	2億　7,189万円
本年度末純資産残高	**466億9,092万円**

■行政コスト計算書

市の経常的な活動に伴うコストと使用料などの収入を示します。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費などの非現金コストも計上し、経常費用合計から経常収益合計を引いたものが純経常行政コストです。

経常費用（A）	352億7,421万円
・人件費（人件費、退職手当引当金繰入など）	43億9,346万円
・物件費等（物件費、減価償却費、維持補修費など）	106億5,023万円
・その他の業務費用（支払い利息など）	9億9,158万円
・移転費用（補助金等、社会保障給付、他会計への支出など）	192億3,894万円
経常収益（B）	26億6,420万円
（C）純経常行政コスト（A）-（B）	326億1,001万円
（D）臨時損失（災害復旧費など）	1億　691万円
（E）臨時利益（資産売却益など）	1,096万円
純行政コスト（C）+（D）−（E）	**327億　595万円**

○市の資産と負債の状況　人口44,047人（令和6年3月31日現在）

①市民1人当たりの資産と負債残高
資産217万円 ／ 負債111万円

②純資産比率（今までの世代の負担済分）　48.9%
※社会資本に対する現在までの世代の負担割合【純資産／総資産】

③有形固定資産減価償却率（資産の老朽割合）　58.6%
償却資産取得価額等　1,606億2,553万円
減価償却累計額　941億6,138万円
※償却資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す比率です【減価償却累計額／取得価額】

④負債比率（純資産に対する負債の割合）　104.4%
※低いほど健全な財政状況を示します

○令和５年度財政運営の総括

①業務活動収支	**6億　534万円**
②投資活動収支（基金積立、資産形成）	**2億　5,796万円**
③財務活動収支（将来世代の負担）	**△8億　7,385万円**
資金収支合計（①+②+③）	**△1,054万円**
前年度資金残高との合計	**30億　923万円**

※表示単位未満は四捨五入のため、合計が一致しない場合があります